

競技大会を楽しむための《良い花火》のポイント!

すわ 玉の座り

打ち上げられた玉が、ちょうど昇りつめた時に開花するものが最高です。途中で開花すると扇形になる可能性があり、昇りつめた後(下って)開花すると星が流れる傾向があるといえます。

わ 割り口

玉が座ったところで点火し、星が一斉に飛び散る瞬間のことを割り口といえます。すべての星に同時に火がついて均等に飛び散るものが良い花火です。

ぼん 盆

星が飛び散って作る球状を盆といい、それが真円(球)であることが最高です。楕円、いびつなもの、玉の大きさ相応の広がりがないものは良くありません。

へんか 変化

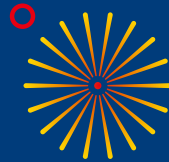
玉が開いている間の各星の色や形態の変化の具合です。色合いに加えて変化の足並みが揃っているほど良く、均一な星作りがされている証です。

かた 肩

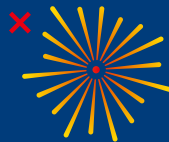
星が放射線状にまっすぐ飛ぶものを最高として「肩の張りが良い」といいます。星が先でふらふら泳いだり、「抜け星(まばら)」になったりするのは良くありません。

きくち 消え口

星がパッパッと一斉に変化して、パッと消えれば最高で、これを「消え口が揃う」といいます。



均整のとれた盆
肩の張りが良い
玉の座りが良い



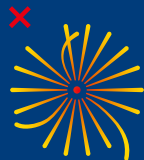
いびつな盆



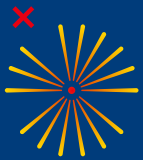
肩の張りが弱い



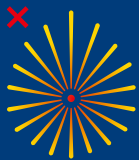
芯の偏り



星が泳ぐ



抜け星



玉の座りが悪い